

第7回住民・福祉・教育小委員会（議事概要）

日 時 平成14年10月10日（木） AM9：30～PM0：15

場 所 アグリセンター大宮

出席者数 14人

傍聴者数 4人

主な議題

- (1) 協議第1号 19-17 介護保険の取扱いについて
- (2) 協議第2号 19-22 社会教育の取扱いについて
- (3) 自由討論 幼保一元化、合併基本項目（方式、期日、位置）について
- (4) 次回の議題について
- (5) 次回の小委員会の予定

議事経緯

委員長あいさつ

会議成立確認

議事

- (1) 協議第1号 19-17 介護保険の取扱いについて・・・確認

主な意見

委 員 サービス供給量により各町保険料が違うが、調整結果には「合併前に事業計画を策定し、一元化に調整の上、新市に移行」となっており本当に可能か。

部会長 保険料やサービスの供給量については6町で一本化する必要があり、平成16年3月を目途とすると、国・府の予算を考え来年10月くらいには算定を終えなければならない。なお、来年度からの第2期（15,16,17年度）の計画ということで、現在各町とも第1号被保険者所得段階については、現行の5段階から6段階で進めている。保険料の算定についても、一定同一歩調をとる方向で調整している。

委 員 利用者負担減免で、弥栄町を除く他の5町は対象者について収入額42万円以下ということになっているが、どういうことか。

部会長 減免措置については、弥栄町は対象者を広くひろっているということ。調整結果にあるとおり網野町に合わせると、弥栄町は対象者が若干減り、峰山町、久美浜町は若干増えることになる。

- (2) 協議第2号 19-22 社会教育の取扱いについて・・・確認

主な意見

- 委員 青少年教育、高齢者教育などの社会教育は、一元化せずに地域特性を活かしたものであってほしい。成人式については、開催日は「成人式の前日の日曜日の午後」となっているが、参加者等にアンケートして決めたらよい。
- 部会長 社会教育については、地域特性を考え取捨選択、集約、総合化するなど、一元化は考えていない。成人式については、アンケート等も必要と考える。
- 委員 調整結果のとおり、新市の「社会教育推進の重点」を決めるのが第1である。成人式の日程の調整結果に至った経緯はどうなっているか。
- 部会長 各町の教育長と相談の上の調整結果となっている。
- 委員 成人式の日程について大宮町議会で事前に勉強会をしたが、新市でひとつの会場とすると会場も限られ大幅に参加者が減るのでは、また父兄等も一緒に入れる会場があるのか、それに成人式が中学校の同窓会的なものになっており、ひとつの会場ではどうかといった意見が出ていた。
- 委員 地域に根ざした社会教育、新しい歴史を産む新市での社会教育をめざしてほしい。成人式は同窓会的というのも事実だろうし、全国的にその意義が問われているが、成人式を祝うということを意義あるものするにはどうしていったらよいか。
- 委員 介護保険などは料金等の統一ということで一元化でよかろうが、社会教育は各地域の創意工夫でやられている。成人式については形骸化、同窓会的になっているのではといったことだが、無理に一緒にするのではなく、新市になって一緒にやろうという声上がるまで待つべきと考える。
- 委員 社会教育は、どのような組織体制、職員体制でやっていくのか。このような問題は、新市建設計画策定小委員会にまかせないとできないのか。
- 部会長 事務局体制、組織・機構については教育長会で論議されている。
- 委員 成人式は、基本的に一箇所でよいと考えるが、該当者がすべて入れる会場を用意すべきで、会場がないのなら2箇所に分かれてもしょうがないと考える。しかし、合併ということを考えると、6箇所でやるというのはいかがなものか。また開催時間を午後にしたのはどういうことか。
- 部会長 該当者数から最大出席数を考えると、丹後文化会館でもむずかしいと考える。実施期日については6町の間をとったもの。時間については、参加者の準備等を考えてのこと。
- 委員 一堂に会して行われるのが基本だと考えるが、保護者の方が一緒に祝うということも大事なので、人数的に入れられないのなら2会場でもやむをえないと考える。将来的に少子化が進んだり、新会場が建設されるのなら解決すると思う。開催日程については、各町それぞれの事情で今までやってこられたと思うので、何らかの形で参加者の意見聴取をした方がよい。
- 部会長 開催日程まで踏み込んだ調整結果ではあるが、実施日の部分はカットしたらよいか。また、現在の開催日は6町で3通りあるので、アンケートを実施するなりして集まりやすい日に設定すべきと考える。平成16年3月1日が合併の目途であり、これからすると平成17年実施の成人式からの調整となる。
- 委員長 調整結果は「新市に移行と同時に調整して、一元化の方向で実施する」とする。

(3) 自由討論

・ 幼保一元化について

主な意見

委員 幼保一元化について、新市としてどうしていこうと考えているのか。

委員 幼保一元化については、せっぱつまった問題ではなく、将来に向けて勉強していこうとするものと考えている。

事務局 こうしたことを一つの知識として、新市の建設計画の中に「導入を検討」とかいった意見を出していただきたい。

委員 伊根町は、今度合併後には他施設に転用できるように役場を新築されるということだが、来年保育所の統合をされる大宮町、久美浜町では、そうした考えがあったのか。

委員 久美浜町では、審議会の答申を受け統合を決めたもの。親の会、地域の区長会等への説明会も実施し、7つの保育所を3つにするが、久美浜町では幼稚園がないので、幼保一元化については深く議論していない。

部会長 大宮町でも保育所が8つあるが、その中でもへき地の保育所は40人定員で10人を切るところも出てきた。建物の老朽化、少子化対策として大宮町の南側に統合を考え、保育所数を全体で3つとする計画で、0歳児保育、朝や夜の早延長保育、広域的な入所など保育の中味を高めてほしいという保護者のニーズに応えた。

委員 幼保一元化の問題は、女性の就業形態の変化から、保育所はニーズの高まりにより施設不足、逆に幼稚園は入園者の減少でたくさん廃園となっており、この施設を保育所のように使えないかというのが発端である。丹後では、保育所施設が足りないのではなく、未満児保育に欠けており、年長児には空きがある状況。丹後では、幼稚園を保育所のように利用しなくても、保育所の内容を充実させた方がよい。また、合併すれば、現在の2幼稚園に6町から通えるようになるので、幼稚園は選択できるものとして充実させたらよいと考える。

委員 延長保育など、保育所の充実が図られるのなら、保育士の質の向上というのも大きなテーマであり、対策をとるべきと考える。

・ 合併基本項目（方式、期日、位置）について

主な意見

委員 事務所の位置の提案は峰山町役場だけとし、支所を置くということについては現行を維持するだけの中味だから削除すべきである。

委員 本庁のあり方については、小さい本庁、大きな支所ということを基本に考えていただきたい。

委員 この3項目については提案どおりで賛成する。特に位置については地理的にも距離的にも峰山町でよいと考える。

委員 本庁の位置については提案どおりでよいと考えるが、支所ということ提案から削除すると住民も不安に思うのではないか。支所機能、分庁舎方式などの問題については別の議論が必要と考える。

委員 支所機能は重要である。窓口業務だけではだめ、支所で財政的にも結論が出せるような、本庁並みの機能がほしい。

(4) 次回の議題について
協定項目の協議について

(5) 次回の小委員会の予定
第8回住民・福祉・教育小委員会
日時 平成14年11月7日(木)午後1時30分～
場所 弥栄町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)